

ねむろトピックス

夢

しらかば保育園の
おともだち



のむら ななこ
野村 菜々子ちゃん (3才)
おおきくなったら
“お洋服屋さん”になりたい!



つきたて しゅん
月舘 瞬くん (5才)
おおきくなったら
“大工さん”になりたい!



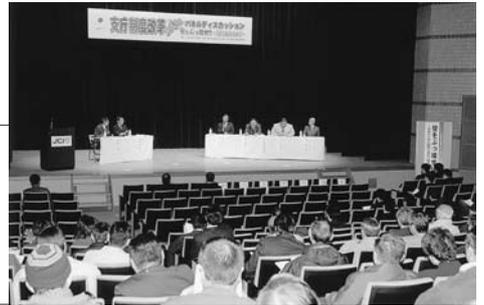
たなか あいり
田中 愛梨ちゃん (4才)
おおきくなったら
“美容師さん”になりたい!

DREAM



3月20日、「平成19年度根室市スポーツ賞並びにスポーツ奨励賞表彰式」が総合文化会館で開催され、スポーツ賞には田中穰君、スポーツ奨励賞には根室球友クラブ、光洋中学校水泳部、能登亮平君、戸田亮太君が受賞されました。

3月24日、「支庁制度改革パネルディスカッション」(根室青年会議所主催)が総合文化会館で開催されました。パネルディスカッションでは、パネラーから再編反対の声が相次ぎました。



「根室市ふるさと応援寄付条例」が施行された4月1日、市立根室病院の新築・改修に関する事業に岡野平吉さんから寄付がありました。

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NCC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎0153-25-3047

<ヒバリ>

「春を告げる鳥」

「春を告げる鳥」と言ったら、みなさんはどんな鳥を思い浮かべますか? ホ〜ホケキョと美しい声で鳴き始めるウグイス、湿原に響き渡る声で鳴きあいをするタンチョウ…と人によって、いろいろな鳥が思い浮かぶのではないのでしょうか?

春国岱で一番初めににぎやかに春を告げてくれる鳥は、3月下旬ころに南から渡ってくる、ヒバリという茶色い小鳥です。体長(くちばしから尾の先までの長さ)17cmくらいで、モヒカンのように頭の羽が立つのが特徴です。ヒバリは、草原や川原などの地面に巣を作って子育てをするため、春国岱では第一砂丘の草原でよく見られます。「ピチチュクチュクピチチ、ピチピチ…」と大きな声でも複雑に鳴きながら空高く舞っている鳥がいたら、それがヒバリです。よく聞くと「日1分(ひ いちぶ)、日1分、日1分…」と鳴いているように聞こえませんか? 長いときは1分以上も上空で舞いながら「日1分…」と鳴き、最後に「月2朱利取る(つきにしゅりとる)」と喋り降ります。

このように、生き物の鳴き方を人間の言葉に当てはめてわかりやすくしたものを「ききなし」といいます。ヒバリのほかにも、ウグイスは「法華経」、センダイムシクイは「焼酎一杯グィ」などと聞きなされています。みなさんも、鳥の鳴き声が聞こえたら、どんな風に聞こえるか、聞いてみてください。

4、5月にかけて、ヒバリに続くようにノビタキやノゴマなどの夏鳥が次々に子育てのためにやってきて、春国岱はますますにぎやかになっていきます。これからの季節は、子育てに忙しく飛び回る小鳥たちの姿が楽しめます。

(レンジャー 富岡 優子)